

平成 28 年度
事業報告書

社会福祉法人 山王平成会

目次

法人本部	1
阿久和保育園	5
西柴保育園	12
阿久和キッズ	21
ごしよの保育園	28
かわしり保育園	39

平成 29 年 6 月 16 日

平成 28 年度 社会福祉法人山王平成会 法人本部事業報告

1. 理事・監事

理事・監事は次の通り。(敬称略)

- ・理事長 長谷川 貴勇
- ・副理事長 加賀屋 寛子
- ・理事 中川 實、地主 徹弥、有田 正司、富樫 富士子、松田 悦郎
- ・監事 田口 正一、高橋 真一

2. 理事会の開催

第 1 回 平成 28 年 5 月 26 日(木)

第 1 号議案 平成 27 年度財務諸表等の件

第 2 号議案 平成 27 年度事業報告書の件

第 3 号議案 各種規則・規程改定の件

報告事項

(1) 各園の現状報告

(2) ごしよの保育園 LED 工事の報告

第 2 回 平成 29 年 1 月 31 日(火)

第 1 号議案 定款改定の件

第 2 号議案 平成 28 年度補正予算の件

第 3 号議案 保育所施設設備・積立金の取り崩しの件

第 4 号議案 平成 29 年度事業計画および中長期計画の件

第 5 号議案 評議員選任・解任委員会の件

報告事項

(1) 各園の状況報告

第 3 回 平成 29 年 3 月 6 日(月)

第 1 号議案 平成 29 年度予算の件

第 2 号議案 新定款および各種規定改定の件

第 3 号議案 阿久和キッズ施設長交代の件

3. 重点施策

(1) 「職員が使命感をもち、かつ楽しく仕事が遂行できる」職場環境の整備

各園の職場環境（ハード面、ソフト面）については、ほぼ目標通り整備できたと考えている。但し、今後の職員採用については園の運用状況と財務状況の両面を考慮しながら、必要に応じて対処していきたい。

定款については、平成29年度から社会福祉法人制度改革で評議員会が必置となるため改定を実施した。また、今後の理事会運営の内容を見直す良い機会でもあったため、その点についても一部改定を実施した。

また、法人本部から最新版の定款・規定類が一式になったファイルを各園に配布し、常に最新版管理が維持できる仕組みを構築した。

規定類については、新規に福利厚生規定を制定した。新規項目としてファミリーデーを追加し、福利厚生の充実化を図った。

最後に、各園における産休・育休の定着化も図れてきていると思う。復帰後の受け入れについても職場として年々理解が深まってきている。また、事務手続きも労務士事務所と連携し、迅速に対応できている。

(2) 財務管理の更なる強化

四半期ごとに各園の予算に対する実算の進捗状況の確認（人件費率、当期資金収支差額等）を実施した。

具体的には、主に下記3点が成果として得られた。

まず第一点目は、職場環境の整備に向け財務根拠をもった上での積極的な設備投資が行えた。また、法人として判断基準となる適正な人件費率についてもある程度見出せた。今後の課題としては、職員採用をしていく際、必要に応じて派遣会社を活用していかねばならないが、その際発生する紹介料も人件費に含め換算し、別途内部で管理する人件費率も算出し管理する必要性も感じ始めている。

第二点目は、各園の当期資金収支差額からどの程度の金額をどの勘定科目に積立をするかについて検討を重ねた。今までは原則として「施設整備」に関する勘定科目を中心に積み立ててきたが、今年度からは将来の展望を見据え、「備品購入費」や「人件費」についても、積極的に計上するようにした。

最後に第三点目は、保育材料費について園内で必要な費用と地域支援で必要な資金の割合を、その年度の状況に応じて臨機応変に対処していく必要性を感じた。そのため、今後は地域支援していく活動内容、頻度等について選択と集中の考えのもと、定期的に詰めていく予定である。

今後の課題としては、実績の数値を財務分析により有効に活用していきたいと思う。また、全員が疑問意識を持ち提案できるスキルを向上させ、更なる財務管理の徹底を図っていきたい。引き続き、資格取得も推進していく。

一年を振り返り、今まで以上に法人本部職員、経理職員と職場職員が一体感

をもって連携し取り組めたことは、法人としては大きな一歩であったと感じている。

(3) 人員体制の確立

保育園のホームページがスマートフォン対応にリニューアルされたことで、各園の求人情報がより閲覧しやすくなった。次のステップとしては、求人情報の伝え方、見せ方を工夫し、更なる効果を見出していきたい。

職員採用に向け人材派遣会社の選定も進めた。その結果、今までの実績より、対応の迅速さ、誠実さ、提案力等総合的に判断し、数社と良い関係を構築できつつある。法人本部としても、以前より迅速に職員採用ができるようになってきている。

新卒採用については、秋田地区は以前より大学側との信頼関係が構築されており、安定的に採用ができている。今後は、キャリア職員の採用も定期的に採用できる環境を構築していきたいため、派遣会社の選定も徐々に進めていく。

一方、横浜地区の新卒採用については、大学側と安定的に採用できる信頼関係のレベルまでには至らないまでも、年々信頼関係の絆は深まりつつある。数年ほど前から、採用実績のある大学を基軸として学校訪問を継続した結果、直近1～2年では採用枠以上の応募があり、各園が望む新卒者の採用ができるようになってきた。

最後に、平成29年度より評議員会が本格的に実施される。そのための事前準備として、まずは平成28年度末に秋田地区、横浜地区の2つに分かれ顔合わせをし、その中で評議員会の意義、目的についても説明会を実施した。

今後は、定期評議委員会を予定通り6月で実施する方向で、計画的に準備を進めていく。そして、理事会との効果的な連動も重要なテーマとし、今後慎重に進めていきたい。

4. 職員内訳

(平成 29 年 3 月 31 日時点)

	正規職員	嘱託勤職員	パート職員	事業所計
法人本部	1 名	0 名	1 名	2 名
ごしょの保育園	19 名	8 名	22 名	49 名
かわしり保育園	10 名	4 名	8 名	22 名
阿久和保育園	16 名	4 名	11 名	31 名
西柴保育園	10 名	3 名	11 名	24 名
阿久和キッズ	4 名	0 名	8 名	12 名
法人合計	60 名	19 名	61 名	140 名

5. 児童数の状況

	定員数	児童数(月平均)
ごしょの保育園	180 名	191 名 / 月
かわしり保育園	60 名	68 名 / 月
阿久和保育園	90 名	91 名 / 月
西柴保育園	60 名	53 名 / 月
阿久和キッズ	19 名	19 名 / 月
法人合計	409 名	-

以上

平成 28 年度 阿久和保育園事業報告

1. 事業内容

保育事業 一時預かり事業 延長保育事業 地域子育て支援事業

2. 保育園をめぐる状況

- ・地域との関わりを積極的に行い、子育て支援と共に活動の幅をひろげることができた。年長児によるグループホーム訪問や運動会などの園行事への招待など交流を深めた。また、ホームページ閲覧からの問い合わせも多く、一時保育や園見学以外に韓国教育団体の施設見学や、NHKのキャラクター（ドーモ君）参加の行事撮影などもありホームページによる影響力は大きかった。ただし、今までにない取り組みが増え、予定外の活動が入り、行事等に追われてしまい、ゆったりとした保育があまりできなかった状況が見られた。
- ・園独自の研修、3園合同の研修等を企画、実践することができ、今後の見通しが立てられ、次年度も継続していく。

3. 重点施策

- ・平成 28 年度事業計画で挙げた内容について報告する。

1. 人財育成（新人職員教育）

- ・新任研修を 3 園で行い、山王平成会の業務についての共通理解の下、各園で保育業務がスタートし、横浜姉妹園で連携を取りながら保育を進めることができた。
- ・初めての横浜姉妹園合同研修を実践することができ、職員同士の交流もできたことで、顔の見える関係作りとして、人事交流等今後の研修テーマの一つとして次年度に繋げることができた。

2. 情報の共有

- ・職員間の情報の漏れがない様に、指示系統を明確にし情報共有を行うが、非常勤職員に対するの情報提供の不足や、職員の年度途中の退職等があり、指示系統の変更などで、周知しきれていない時があった。ただ、各係、担当、乳幼児、非常勤、調理員ミーティングはだいぶ定着してきた。

3. 環境整備

- ・食育 畑の整備
- ・各クラスの環境設定の見直し（保育士机周りの整理、押入整理等）
- ・紙おむつ、パンツ 園で廃棄

- ・遮光ネット用ポール設置
 - ・防災用品として、3～5歳児の避難用ヘルメットを購入
 - ・今まで使用してきた日誌や書類の書式の見直しを行い、整理し使いやすくした。
 - ・危機管理体制においても、避難方法、防災用品の確認を行う。

4. 地域交流（子育て支援）事業の推進

・地域との関わりが拡大し、地元の方との連携が取れ、芋ほり、竹の子ほりなどができる畑を提供していただくことができた。子育て支援においては活動内容が充実し、育児講座、給食試食会、体操教室など好評で参加人数の増加が見られた。ただし、予算の使い方が予定通りとならず、予算を使うタイミングを逃したり、見通しの甘さがあり次年度の検討課題となった。また、地域の参加するお子さんの年齢が低年齢の為、内容の工夫が必要で、随時活動内容を子どもたちに合わせ企画変更を行い進めた。

4. 施設整備及び備品等購入

施設設備

遮光ネットのポール L E Dの設置 堰堤排水管設置

倉庫内の棚設置 以上設置完了

* 2階ホール間仕切り設置は使用変更により取り止め

備品等購入

パイプ椅子購入

* 事務机は購入せず

5. 部門別保育年度達成状況（経過記録）

0歳児：保育の見直しと保育内容の整理及び保育士体制を整えたことで、安定した取り組みを行うことができてきた。

1歳児：進級後、1歳児の不安定さが多くみられ、また、年度初めの職員体制の変更等がありスタート後、少しの間は落ち着かない日が続いた。職員体制が整うと園児との信頼関係はすぐに築け、安定した保育ができた。

2歳児：担任間の連携の悪さがあり、情報の周知が行き渡らないことがあった。ただ、子ども達に対する取り組みや配慮は、きちんとでき、進級前には基本的な生活習慣がほぼ身につく。

3歳児：配慮が必要なお子さんが多いクラスの為、担任2人体制で保育にあたった。一人一人の様子に応じて声を掛け、やり方を知らせるなど丁寧に関わってきたので、子どもが迷わず生活ができた。

4歳児：自己主張の強い子が多いクラスの為、トラブルが起きた時、援助が必要な場合もあるが、言葉かけのタイミングをうかがい、子ども達同士で解決できるよう、保育士が関わることで、相手の気持ちをよく聞くなども少しずつ身についてきた。

5歳児：年間の指導計画やアプローチカリキュラムを下に、就学に向けて地域、幼保小の交流等、5歳児ならではの活動を取り組む事が出来た。制作には力を入れ取り組んだことで、友だちとイメージを共有しながら表現することを楽しめた。

6. 児童数・職員数 (空欄に数字を記入)

(1) 入所児童数(平成 29 年 3 月 31 日時点)

(単位：人)

	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合計
4 月	14	16	16	16	14	14	90
5 月	14	16	16	16	14	13	89
6 月	14	16	16	16	14	14	90
7 月	14	16	16	16	15	14	91
8 月	14	15	16	16	15	14	90
9 月	14	16	16	16	15	13	90
10 月	14	16	16	16	15	13	90
11 月	14	16	16	16	15	13	90
12 月	14	16	16	16	15	14	91
1 月	14	16	16	16	17	15	94
2 月	13	16	16	16	17	15	93
3 月	13	16	16	16	17	15	93

(2) 職員数(平成 29 年 3 月 31 日時点)

(単位：人)

職種	園長	保育士	栄養士	調理士	事務員	看護師	合計
正職員	1	13	1	0	1	0	16
嘱託職員	0	3	1	0	0	0	4
パート職員	0	9	0	1	1	0	11

7. 実施行事

(1) 実施行事一覧

月	日	名 称	内 容
4	1	入園進級の日	進級、入園をお祝いする。
	8	0歳児懇談会	年間のクラス計画を話し、その後懇談を行う。
	15	タケノコ掘り	地域の方の山にて筍堀を行い収穫を喜ぶ。
	20	1歳児懇談会	年間のクラス計画を話し、その後懇談を行う。
	21	2歳児懇談会	”
5	2	こどもの日集会	各自制作した鯉のぼりを持参し成長を祝い喜ぶ。
	10	桜餅作り昔遊びの会	桜餅作りとおやじの会の方々と伝統遊びを体験する。
	17	3歳児懇談会	年間の保育計画を話す。
	18	ランランデー	瀬谷区内の保育園(5歳児)との交流を図る。
	18	4歳児懇談会	年間の保育計画を話す。
	19	園児健康診断	委託医が来園し内科検診を受診する。
	19	5歳児懇談会	年間の保育計画を話し、その後懇談する。
	25	お弁当遠足(幼児)	お弁当を持参し幼児クラスが公園にお散歩に行きます
6	9	歯科健診	委託医が来園し歯科健診を受診する。
	14	昔遊び	地域のお年寄りに昔の遊びを教わる。
	15	避難訓練・防災訓練	避難訓練の後、消防署による防災訓練が開かれ参加。
	17	交通安全指導	横浜市の職員による映画や着ぐるみでの交通安全指導
	22	ごっこ遊び	ごっこ遊びを通して異年齢児との交流を楽しむ。
	24	ジャガイモ掘り	地域の方の畑にてジャガイモ堀を行い収穫を喜ぶ。
7	1	プール開き	プール遊びを安全に楽しく行うための約束の確認
	7	七夕集会	七夕の由来を知り笹に短冊や飾りを付け集会を楽しむ
	15	体育指導	色々な動きをしてみよう。跳び箱の動作の確認。
	22	夏祭り	父母の会主催で和太鼓、ソーラン節を楽しむ
	27	科学遊び	身近な素材を用いて科学遊び玩具を作り体験する。
8	30	納涼祭り	夏ならではの遊びお化け屋敷や相撲などを楽しむ
	31	プールじまい	約束を守って楽しく遊べたか確認、プールを清めます。
9	13	昔遊び	地域のお年寄りに昔の遊びを教わる。
10	8	運動会	練習してきた運動遊びや演技を披露して見て頂く
	18	さつま芋堀り	地域の畑にてさつま芋堀りを行う。
	20	お弁当遠足	2～5歳児お弁当を持参し公園遊びを楽しむ。
	24	ヤマト運輸安全教室	交通ルールを教えて頂き、乗車体験を楽しむ。
	31	ハロウィン	園児と地域の子ども達が参加してハロウィンを楽しむ
11	8	秋祭り	収穫した自然物を使って遊びを楽しむ。
12	8	発表会	日々の保育で取り組んできた事を保護者の前で発表する。
	15	マジックショー	マジックショーを楽しむ。
	22	お楽しみ会	職員の出し物を見たりサンタ登場でクリスマスを楽しむ

	27	餅つき	餅つきを体験し新年を迎える準備をする。
1	6	子供新年会	お正月遊びを体験し新年の集まりを楽しむ。
	31	影絵	影絵による話を楽しんで聞き年長児は参加体験する。
2	1	さくら組懇談会	1年のクラスの様子と共に就学について話す。
	2	ひまわり組懇談会	1年のクラスの様子を話すと共に進級に向けて話す。
	3	豆まき集会	豆まきを行い無病息災を願う。
	3	たんぽぽ組懇談会	1年のクラスの様子を話すと共に進級に向けて話す。
	6	うさぎ組懇談会	〃
	7	りす組懇談会	〃
	8	ひよこ組懇談会	〃
	9	人形劇	人形劇を見て楽しむ。
3	1	お別れ遠足	1～5歳児参加でお弁当を持って公園へ散歩を楽しむ。
	3	ひな祭り	桃の節句をお祝いし、成長を祝う。
	10	お別れ会	在園児制作の記念品を渡し年長児と楽しい時間を過ごす
	18	卒園式	年長児の卒園を祝う

誕生会・身体測定・避難訓練は毎月行う。

(2) 来年度（平成 29 年度）に向けた検討事項

- ・行事内容（子ども主体となる内容）
- ・参加方法（無理のない行事内容を企画し取り組む）
- ・行事の整理（行事に追われてしまった一年間であったため、行事を整理し減らす）

8. 研修報告

(1) 研修報告一覧

月	日	名 称	内 容
4	12	幼保小交流事業	顔合わせ・年間計画作成
5	10	地域防災研修	地震災害対策・基礎編、課題提議編
	11	防災研修	横浜防災センター見学
	12	気づき力アップ、部下の育成セミナー	部下の育成とコミュニケーション力研修
	20	保育所定例研修	子供の遊びについて
	20	体育指導	身体を使って色々な動きをしてみよう。
	25	衛生管理講習会	集団給食における衛生管理について
	27	新任保育士研修	新任研修のとらえ方、心構え
6	2	新任保育士研修	保育の質を高める、保育士の誇り
	3	自閉症	自閉症スペクトラム障害の理解
	6	1歳児保育研修	1歳児の発達の特徴、自我の芽生えと社会性
	6	新任保育士研修	保育所を4つの立場に分けた視点から考える
	10	体育指導	身体を動かす楽しさを知る。
	22	アレルギー緊急時対応	食物アレルギー、アナフィラキシー基礎知識、

			緊急対応、エッペン使用の判断と使用方法
7	5	2歳児保育研修	2歳児の自我の育ちを支える保育
	7	インクリュージョン保育の実践	発達が気になる子に対する具体的な対応法や工夫。社会性と集団生活、コミュニケーションの方法。
	11	2歳児保育研修	遊びが育つ環境
	12	1歳児保育研修	1歳児発達特徴
	12	障害基礎知識	発達障害の理解と保育の考え方
	14	食物アレルギー	食物アレルギーについて保育所等におけるアレルギー対応
	14	保育所定例研修	グループ別テーマに分かれて話し合う
	19	3歳児保育研修	3歳児の発達と保育
	20	新任職員研修	絵本、子ども、保育について
	26	4,5歳児保育研修	4,5歳児のクラス運営、遊びと環境
	26	発達障害について	診断する...という事
	29	中堅保育士研修	幼児に教える防災防犯、職場のメンタルヘルス対策
8	4	わらべ歌研修	わらべ歌、遊び歌
	5	手遊び歌研修	手遊び歌
	25	療育センター見学	西部療育センター機能説明、施設見学
	25	特別セミナー	保育素材、簡単手作りおもちゃ
	26	特別セミナー	乳幼児の運動遊び、日常遊びから運動会
	30	感染症対策研修	感染症基礎知識、予防、発生時の対策
9	1	療育センター見学	ピース鶴ヶ峰機能説明、施設見学
	1	主任リーダー研修	職場での問題について話し合う
	2	アレルギー緊急対応	食物アレルギーの基礎知識とエッペン対応
	2	食育研修	行事食、食育活動について
	9	研修手法講座	効果的な施設内研修の進め方
	12	保育所定例研修	グループ別テーマに分かれて話し合う
	16	中堅保育士研修	職場のメンタルヘルス
	16	調理実習研修	乳児食の調理実習
10	17	カウンセリングマインド	事例討議(各園のクレーム事例)・ロールプレイ学習
	21	乳幼児アレルギー	アレルギー、喘息について家庭での配慮
	26	保育教育職員人権	自分史について・人間観、生きあい方観の視点
	28	0歳児保育	0歳児の発達と保育
11	1	メンタルヘルス研修	保護者対応と職員のメンタルヘルス
	7	施設見学	西部療育センター機能説明、施設見学
	15	障害児保育	障害児保育の基本的な理解、保育、保護者支援
	18	主任リーダー研修	園内研修実施報告
	21	0歳児保育	乳児の発達を理解、乳児保育で大切にしたいこと
12	6	メンタルヘルス	保護者の背景、育む保育

	12	主任リーダー研修	グループ討議、発表
	14	小児医療	子供も健康管理、横浜市の予防接種について
	15	実践保育	下瀬谷保育園 2 歳児実践保育体験
	16	中堅保育士研修	保育を取り巻く課題、中堅キャリアで期待される事
	19	ムーブメント	発達に合わせた保育
1	13	食育研修	幼児期の食育について
	25	定例研修	テーマに沿った内容で園研修を行い検討、話し合う
	26 27	療育実施研修	療育センターでの指導や保育に関わり体験する
2	9	定例研修	研修内容を検討、話し合った結果の発表
	18	3 園合同研修	カリ、日誌等の見直し、リズム遊びの確認
3	4	3 園合同調理研修	各園の情報交換や問題点等の話し合い

(2) 来年度（平成 29 年度）に向けた検討事項

- ・ 新任保育士の研修、3 園合同研修の定着化
- ・ 保育のやり方などの情報交換を含めた人事交流を企画実践

以上

平成 28 年度 西柴保育園事業報告

1. 事業内容

○保育事業

・一時預かり事業

専任保育士の雇用は無く、クラス吸収型なので園行事、職員体制によっては受け入れのお断りをする場合があった。

一時保育	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用数	4名	12名	3名	10名	5名	4名	2名	4名	3名	4名	2名	3名

・延長保育事業

延長保育	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用数	19名	19名	19名	18名	19名	26名	18名	19名	17名	16名	18名	18名

○地域育児支援事業

- ・乳児室開放（月 1 回程度） 園庭開放（週 2 回） 育児講座（年 3 回）
- 交流保育（リズム遊び、七夕集会、運動会、運動会ごっこ、公園愛護会との焼き芋会、ハッピーデイコンサート、お正月遊びの会、リズム遊び、節分の会）
- 体験給食（月 2 回） 誕生会参加（月 1 回）

2. 保育園をめぐる状況

○人事関係

- ・平成 28 年 4 月入職の保育士 2 名（1 名：正規雇用 1 名：嘱託雇用）の退職
- ・28 年度末をもって、主任保育士がごしょの保育園に異動

○園舎建替え

- ・本園舎建替えに伴う仮園舎建設の「説明会開催」「設計」「施工業者選定」等

○当期資金収支差額の低迷

- ・保育士派遣会社への紹介派遣料の支出（平成 27 年度分：200 万円 平成 28 年度分 200 万円）
- ・仮園舎建設に関する支出（平成 28 年度分：90 万円）
- ・定員割れ（定員 60 名）

西柴保育園 入所児童数の推移

民間移管後の山王平成会運営（6力年度：平成23年度～28年度）

		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
入所児童数	4月1日の 在籍児童数	54名	55名	45名	50名	49名	52名
	3月31日の 在籍児童数	54名	55名	54名	51名	57名	52名

○保育環境

- ・27年度の反省をいかし、金沢区と調整した上で1,2歳児の受け入れ児童数を定員より1名減らし、受け入れを行なう。

（定員：1歳児8名 2歳児クラス10名）（受け入れ児童数：1歳児7名 2歳児クラス9名）

*28年度内に園見学に来られたご家庭には上記内容を丁寧に説明したことによって、園運営の評価を得て、29年度の入園希望者の増加を見込むことができた。（H29.4.1：在籍児童数59名）

3. 重点施策

(1) 保育所保育指針の読み合わせ（理解促進）研修

『子どもたちの最善の利益』を基本におき、子どもにとって必要な保育とはなにか、どのような環境、どのような関係をつくる必要があるのかということ、“より簡潔に、分かりやすい言葉で指針を読み解く”をキーワードに職員間で学び合う機会を積極的に設けた。（園内研修期間：4～9月の職員会議 参考資料：「新保育所保育指針を読む」）

(2) 身体活動の充実

西柴保育園としてのリズム活動を再構築するため、園内外の研修に努めた。基礎知識として、「さくら・さくらんぼのリズム」の理論を把握し、横浜市リズム研修会に参加することによって、実践的な内容を学ぶことができた。（横浜三園合同研修会の二部ではリズム研修を行い、三園の職員間で知識・情報を共有した。）

体操遊びでは、横浜市体育協会主催の「はつらつキンダー事業：横浜市体育協会職員等が保育園訪問指導を行なう事業」に参加し、指導を受ける。（9月7日）

また、幼児活動研究会（株）：コスモスポーツクラブの指導員を招き、側転、跳び箱の体操指導を受ける。（対象：4・5歳児クラス 11月1日・2月20日 体験指導として両日も無料） 継続活動として横浜FCとのサッカー交流を年4回行う。

(3) 平成29年度に受審する第三者評価の準備

- ・ヒヤリハットの見直し、活用（「ヒヤリハット事例集」や「保育所におけるリスクマネジメント報告書」を参考に日常保育での危機管理意識や事故被害を最小限に防ぐ意識を共有した）
- ・全マニュアルのデータ化、職員との読み合わせ（・年度当初読み合せ：「安全保育」「衛生管理」「事故・けが対応」「防災」等 ・時期相応読み合せ：「プール・水遊び保育」「感染症」等）
- ・日常の保育業務で使用している書式の見直し（「保育日誌」「年間指導計画」「保育課程」）

4. 施設整備及び備品等購入

平成 28 年度	内容	金額 (単位：円)
5 月 12 日	消防設備不良改修工事	142,344
6 月 9 日	乳児室収納スペースの開閉扉設置	160,000
6 月 12 日	砂場キープネット	49,600
8 月 16 日	グリストラップ清掃	86,400
10 月 28 日	乳児用トイレ詰まり補修	39,000
11 月 9 日	乳児用トイレ詰まり補修	39,000
2 月 14 日	保育室サッシ補修	12,000
2 月 27 日	防災用発電機 (施設強化推進費補助金)	151,200

5. 部門別保育年度達成目標

- 1 歳児：金沢区と調整した上で受け入れ児童数を定員より 1 名減らし、7 名でスタートする。8 月より母子生活支援施設入所の児童（きょうだい関係：姉は 5 歳児クラス）の入所があり 3 月まで在籍（姉の就学に向けて母親の出身地北海道へ転居）する。『園生活に慣れ、一日の保育の流れに沿って食事や睡眠・排泄などの生活の活動を保育者と一緒にする。』『保育者とかかわる中で言葉を覚え、要求や自分の気持ちを簡単な言葉で伝えようとする』『保育者との信頼関係をもとに、友だちへの関心をもち、一緒に遊ぶ楽しさを味わう』のクラス目標に努めた。
- 2 歳児：金沢区と調整した上で受け入れ児童数を定員より 1 名減らし、9 名でスタートする。認定には至っていないが、おとなの見守りが必要な児が在籍していたため、非常勤職員を必要に応じて配置した。『担当保育者に見守られながら簡単な身の回りのことを自分でしようとする』『友だちとの関わりができ、一緒に遊んだり行動したりつもり遊びを楽しんだりする』『運動用具を使った遊びやリズム遊びを通して身のこなし方がわかっていく』のクラス目標に努めた。
- 3 歳児：受け入れ上限の 13 名（定員：12 名）でスタートし、年間を通して 13 名を維持することができた。支援が必要な児童（1 対 1 認定児童 2 名、認定されていない児童 1 名）が在籍していたため、クラス担任 1 名と非常勤職員 2 名を配置し、クラス運営を行なう。『園生活での過ごし方が分かり、自分から進んで身のまわりの支度や始末をしようとする』『感じたことや思ったことを友だちや保育者に話し気持ちを共感してもらい嬉しさを味わう。また、相手の話に興味を持ち聞こうとする気持ちを待つ』『全身を使った遊びや指先を使った遊びの楽しさを知り友だちと一緒に遊ぼうとする』のクラス目標に努めた。

4 歳児：年間を通して 13 名の在籍児童数であった。(定員 14 名)

担任が中心となり、関わりが必要な児童や家庭(保護者)の対応に努める。

『基本的な生活習慣やマナーを身に付け、自分でできることの範囲を広げ、意欲を持って楽しく生活する』『遊びなどの活動を通し友だちと共通の目的を持ち、集団生活を楽しむ』『自然事象や環境に興味・関心を持ち、自分から関わり様々な生活の中で自己表現する力を身に付ける』のクラス目標に努めた。

5 歳児：11 名でスタートする。8 月より母子生活支援施設入所の児童(きょうだい関係：

弟は 1 歳児クラス)の入所があり 3 月まで在籍(就学に向けて母親の出身地北海道へ転居)する。『友だちと一緒に園生活を十分楽しみ、意欲的に遊びや生活に取り組むとともに、主体的に行動して充実感を味わう』『クラスの友だちとの関わりを通して社会生活における必要な態度を身に付け、みんなで協力したり役割を分担したりしながら目的を成し遂げる喜びを味わう』『さまざまな表現を楽しみ、意欲的、創造的に遊びや行事に取り組む』のクラス目標に努めた。

調理：正規の調理職員 1 名が 6 月末に退職したが、育児休業から復帰した職員(6 時間正規職員)と新規職員(正規)の採用を行なったため、調理の職員体制としては手厚いものとなった。

『乳幼児の食事は、心身の健全な発育発達、健康の保持増進を助け、また、栄養・食生活に対する理解を深めて、望ましい食習慣・生活習慣を育てていくこと』の目標に努めた。

6. 児童数・職員数 (空欄に数字を記入)

(1) 入所児童数(平成 29 年 3 月 31 日時点)

(単位：人)

	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合計
4 月		7	9	13	12	11	52
5 月		7	9	13	13	11	52
6 月		7	9	13	13	11	53
7 月		6	9	13	13	11	52
8 月		7	9	13	13	12	54
9 月		7	9	13	13	12	54
10 月		7	9	13	13	12	54
11 月		7	9	13	13	12	54
12 月		7	9	13	13	12	54
1 月		7	9	13	13	12	54
2 月		7	9	13	13	12	54
3 月		6	9	13	13	11	52

(2) 職員数(平成 29 年 3 月 31 日時点)

(単位：人)

職種	園長	保育士	栄養士	調理士	事務員	保育補助	合計
正職員	1	6	2	0	1	0	10
嘱託職員	0	2	1	0	0	0	3
パート職員	0	6	0	1	0	4	11

7. 実施行事

(1) 実施行事一覧

月	日	名称	内容
4	1	入園・進級を祝う会	新入園児、進級児童を祝う
	13	避難訓練	午前中の時間帯に地震を想定した避難訓練を行う
	20	5歳児 すみれ組 懇談会	クラス担任と保護者との情報交換を行う
	26	4月誕生会	4月生まれの児童の誕生を祝う
5	2	こどもの日の会	日本の伝統行事の意味や大切さを伝える
	12	茶道教室	年間を通して茶道を学ぶ
	19	横浜 FC サッカー交流	横浜 FC スタッフとのサッカー交流
	24	5月誕生会	5月生まれの児童の誕生を祝う
		懇談会	3歳児 4歳児 1, 2歳児
6	7	京急電鉄検車区見学	京急車両の検車区を見学し、地域との交流を深める
	9	茶道教室	年間を通して茶道を学ぶ
	28	6月誕生会	6月生まれの児童の誕生を祝う
	30	横浜 FC サッカー交流	横浜 FC スタッフとのサッカー交流
7	1	年長児 三園交流（第一回）	釜利谷、あおぞら谷津、西柴保育園の三園交流
	5	プール開き	安全祈願をし、子どもたちとプール遊びの約束をする
	7	七夕の会	七夕の由来を知り、楽しんで行事に参加する
	14	茶道教室	年間を通して茶道を学ぶ
	26	7月誕生会	7月生まれの児童の誕生を祝う
	30	夕涼み会	自治会主催の夏祭りに参加し、踊りを披露する
8	17	避難訓練	長時間保育中の火災を想定した訓練
	18	茶道教室	年間を通して茶道を学ぶ
	23	8月誕生会	8月生まれの児童の誕生を祝う
	25	おまつりごっこ	幼児の各クラスがお店を出し、お祭りの雰囲気を楽しむ
9	1	防災訓練	警戒宣言発令を想定した訓練
	2	プール終い	安全に活動を終わられることを感謝し、個々の上達を称える
	7	はつらつキンダー事業	横浜市体育協会職員から運動遊びの訪問指導を受ける
	27	9月誕生会	9月生まれの児童の誕生を祝う
10	1	運動会	運動遊びの成果を参観者の前で披露し、皆で楽しむ
	6	横浜 FC サッカー交流	横浜 FC スタッフとのサッカー交流
	7	運動会ごっこ	年中が主体となり、地域の方と一緒にごっこ遊びを楽しむ
	12	避難訓練	二次避難として、西柴小学校まで避難する
	20	西柴小給食体験	5年生にエスコートしてもらい、給食を体験する
	25	10月誕生会・	10月生まれの児童の誕生を祝う
11	1	コスモ体操教室	運動遊び（マット運動、跳び箱等）の指導を受ける
	8	公園愛護会との焼き芋会	隣接した第一公園で焼き芋会を行い地域交流を行う
	16	三園交流ドッジボール大会	釜利谷、あおぞら谷津、西柴保育園でドッジボール大会

	22	11月誕生会・	11月生まれの児童の誕生を祝う
12	3	お楽しみ会	日頃の表現活動を保護者や地域の方の前で発表する
	8	茶道教室	年間を通して茶道を学ぶ
	10	ハッピーデイコンサート	地域のハーモニカグループの演奏を聴き交流をもつ
	15	横浜FCサッカー交流	横浜FCスタッフとのサッカー交流
	20	12月誕生会・	12月生まれの児童の誕生を祝う
1	12	お正月遊びの会	祖父母や地域の方と一緒に正月遊びを行い楽しむ
	19	年長すみれ組 懇談会	子どもの成長を語り合い、進級に向けて確認し合う
	23	三園交流ドッジボール大会	釜利谷、あおぞら谷津、西柴保育園でドッジボール大会
2	3	節分の会	節分の由来や豆まきについて話を聞き、豆まきを行う
	16	茶道教室	年間を通して茶道を学ぶ
	20	コスモ体操教室	運動遊び(マット運動、跳び箱等)の指導を受ける
		たんぼぼ・ゆり・ちゅうりっぷ懇談会	子どもの成長を語り合い、進級に向けて確認し合う
3	3	ひなまつりの会	ひなまつりの会を皆でお祝いする
	7	お別れ遠足(卒園児のみ)	保育園の思い出作りとして遠足を楽しむ
	11	入園説明会	入園する保護者に説明、情報交換を行う
	23	卒園式	年長児の卒園を皆で祝う

(2) 来年度(平成29年度)に向けた検討事項

- 非常勤職員を含めた全職員に対し、園行事の企画、運営、反省の周知を徹底する。
- 京急電鉄検車区見学、横浜FCとのサッカー交流は保護者や子どもたちから好評であったので、平成29年度も実施していく。
- 阿久和保育園所有の園バスを活用し、園外活動や姉妹園交流に努める。

8. 研修報告

(1) 研修報告一覧

月	日	名称	内容
5	10	ムーブメント研修 第1回	遊び・環境・発達を取り組んだ発達教育を学ぶ
	13	子どもの心に寄り添うカウンセリング研究会 1回	カウンセリングの基礎的な考え方を学ぶことによってカウンセリングマインドを身につけ、日常の保育・教育に活かす。また、幼保小の教諭・保育士が共同で研究に取り組むことによって、相互理解を深め、教育連携に役立てる。
	19	要支援研修	発達障がいや特別な支援が必要な子どもたちにどのような支援が必要なのか、一人ひとりにあった支援の仕方について学び、日常の保育に活かし、保育の質の向上に努める。
	25	衛生管理講習会「集団給食における衛生管理について」	児童福祉施設に勤務する給食関係者に食中毒防止について再認識してもらい、集団給食の衛生状況の向上を図る。
	30	要支援研修	発達障がいや特別な支援が必要な子どもたちにどのような支援が必要なのか、一人ひとりにあった支援の仕方について学び、日常の保育に活かし、保育の質の向上に努める。
6	3	金沢区教育・保育施設職員研修 生活リズムと脳の成長を考える	乳幼児期にある子どもの生活リズムについて、脳の成長から見たときに何を重視して保育に臨めばよいのか、生活リズムに関する意識を深めていく。
	6	要支援研修	発達障がいや特別な支援が必要な子どもたちにどのような支援が必要なのか、一人ひとりにあった支援の仕方について学び、日常の保育に活かし、

			保育の質の向上に努める。
	6	新任保育士研修	新任の保育士が子どもの最善の利益につながる保育を行う保育士としての役割を学ぶと共に講義を聴いて保育の心を考え、これからの保育に対する姿勢を学ぶ。
	7	子どもの心に寄り添うカウンセリング研究会 2回	カウンセリングの基礎的な考え方を学ぶことによってカウンセリングマインドを身につけ、日常の保育・教育に活かす。また、幼保小の教諭・保育士が共同で研究に取り組むことによって、相互理解を深め、教育連携に役立てる。
	9	乳児保育研修 0歳児	0歳児の発達過程、保育技術を学び、保育者としての質の向上を目指します。 0歳児の保育を見つめなおすことができる内容
	13	乳児保育研修 1歳児	1歳児の発達過程、保育技術を学び、保育者としての質の向上を目指します。 1歳児の保育を見つめなおすことができる内容
	17	食物アレルギー研修	「保育所におけるアレルギーをはじめとするアレルギー疾患について正しく理解し、保育所職員の資質向上を図り、今後の保育運営に活かす。
	17	子どもの心に寄り添うカウンセリング研究会 3回	カウンセリングの基礎的な考え方を学ぶことによってカウンセリングマインドを身につけ、日常の保育・教育に活かす。また、幼保小の教諭・保育士が共同で研究に取り組むことによって、相互理解を深める。
	17	幼保小交流事業 ブロック合同研究会	
	22	食物アレルギー・緊急時対応研修 (1回目)	保育所などアレルギー疾患のある者に携わる職員が症状や治療法などの知識、アナフィラキシーショックを起こした際の緊急時の対応等を習得することにより、各関係機関の対象者への適切な対応や相談能力の向上を図る。
	29	幼児保育・教育研修 4歳児	4歳児の発達過程、保育技術を学び、保育者としての質の向上を目指します。 4歳児の保育を見つめなおすことができる内容
	30	乳児保育研修 1歳児	1歳児の発達過程、保育技術を学び、保育者としての質の向上を目指します。 1歳児の保育を見つめなおすことができる内容
7	2	自閉症ペクトラム障害の理解	自閉症ペクトラム障害の基本的な特徴と対応を学ぶことを目的とする。
	4	幼児保育研修 3歳児	3歳児の発達過程、保育技術を学び、保育者としての質の向上を目指します。 3歳児の保育を見つめなおすことができる内容
	5	乳児保育研修 2歳児	2歳児の発達過程、保育技術を学び、保育者としての質の向上を目指します。 2歳児の保育を見つめなおすことができる内容
	7	インクルージョン保育の実践	発達に気になる子どもに対する「インクルージョン保育」の考え方に沿って、実践的で具体的な対応法や工夫を学べることを目的とする。
	8	子どもの心に寄り添うカウンセリング研究会 4回	カウンセリングの基礎的な考え方を学ぶことによってカウンセリングマインドを身につけ、日常の保育・教育に活かす。また、幼保小の教諭・保育士が共同で研究に取り組むことによって、相互理解を深め、教育連携に役立てる。
	11	乳児保育研修 2歳児	2歳児の発達過程、保育技術を学び、保育者としての質の向上を目指します。 0歳児の保育を見つめなおすことができる内容
	12	ムーブメント研修 第2回 18:30～20:30	遊び・環境・発達を取り組んだ発達教育を学ぶ
	12	児童虐待対応専門研修	児童虐待の防止に向けた地域での支援と機関の連携。児童虐待のこどもの心身への影響
	13	幼児保育・教育研修 5歳児	5歳児の発達過程、保育技術を学び、保育者としての質の向上を目指します。 5歳児の保育を見つめなおすことができる内容
	19	リーダー研修	事例検討をしながら教育・保育施設にいけるリーダーの役割について学ぶ。
	21	インクルージョン保育の実践	発達に気になる子どもに対する「インクルージョン保育」の考え方に沿って、実践的で具体的な対応法や工夫を学べることを目的とする。
	21	知的障害理解 研修	ムーブメント教育を通して「からだ・あたま・こころ」を育てる支援
	22	幼児期に大切にしたい脳の育ち	脳の発達は順序が大切 体の脳(生きるための脳) お利口さんの脳(人間らしい脳) 心の脳(社会の脳)を順序たてて育てる事が大切。
	23	乳児保育研修 3歳児	3歳児の発達過程、保育技術を学び、保育者としての質の向上を目指します。 3歳児の保育を見つめなおすことができる内容
	25	障害の理解 基礎編	障がい児保育に必要な基礎知識について広く習得することを目的とする。
25	自閉症スペクトラム障害の理解	自閉症ペクトラム障害(特に知的な遅れのない場合)の基本的な特徴と対応を、園内で起こり得る具体例を通して習得する。特に3歳、4歳、5歳の年齢別クラスの課題や対応の方法を学ぶ。	
8	30	家庭支援研修	講義を通して具体的な家庭支援の方法を学び、支援の課題についても考える。

9	2	子どもの心に寄り添うカウンセリング研究会 5回	カウンセリングの基礎的な考え方を学ぶことによってカウンセリングマインドを身につけ、日常の保育・教育に活かす。また、幼保小の教諭・保育士が共同で研究に取り組むことによって、相互理解を深め、教育連携に役立てる。
	8	研修手法講座	園や施設全体、保育士の質の向上につながる園内の研修方法の基礎知識、具体的な技法等を学ぶ
	10	ケロボンズあそびネタセミナー	ケロボンズおふたりの元気で魅力的なパフォーマンスを学び、明日からの保育にいかす。
	12	ムーブメント研修 第3回 18:30～20:30	遊び・環境・発達を取り組んだ発達教育を学ぶ
	20	リスクマネジメント研修	「深刻な事故を知らずに深刻な事故を予防できない」という観点から事例を学び、睡眠中の死亡や他の深刻事故の予防、対処する基礎知識を習得し保育に活かす。
10	3	カウンセリングマインド研修	カウンセリングの観点から、子どもたちや保護者と関わる人が持つべき心構えについて傾聴・受容・共感的理解を学び、保育や保護者支援に活かす。
	6	子どもの心に寄り添うカウンセリング研究会 6回	カウンセリングの基礎的な考え方を学ぶことによってカウンセリングマインドを身につけ、日常の保育・教育に活かす。また、幼保小の教諭・保育士が共同で研究に取り組むことによって、相互理解を深め、教育連携に役立てる。
	7	保育ソーシャルワーク研修	保育者が行うソーシャルワークについて理解を深め、保育に活かすことを目的とする。
	11	自閉症スペクトラム障害の理解	自閉症スペクトラム障害（特に知的な遅れのない場合）の基本的な特徴と対応を、園内で起こり得る具体例を通して習得する。特に3歳、4歳、5歳の年齢別クラスの課題や対応の方法を学ぶ。
	12	こども権利条約・実践編	豊かな国で豊かに生きられない子どもたち 子どもの成長発達に不可欠な受容的応答関係 関係性を取り戻すための子ども権利条約 子どもの権利条約を踏まえた新たな社会を
	26	保育・教育人権研修	保育・教育に関わる者の人権感覚を学ぶ
	27	給食研修会	口腔、顎、頸部等の運動機能や摂取機能、嚥下機能を理解し、食事等の支援方法の向上を図る。
11	8	子どもの心に寄り添うカウンセリング研究会 7回	カウンセリングの基礎的な考え方を学ぶことによってカウンセリングマインドを身につけ、日常の保育・教育に活かす。また、幼保小の教諭・保育士が共同で研究に取り組むことによって、相互理解を深め、教育連携に役立てる。
	11	ケロボンズあそびネタセミナー	ケロボンズおふたりの元気で魅力的なパフォーマンスを学び、明日からの保育にいかす。
	15	インクルージョン保育の実践	発達が気になる子どもに対する「インクルーシブ保育」の考え方に沿って、実践的で具体的な対応法や工夫を学べることを目的とする。
	17	リーダー研修	事例検討をしながら教育・保育施設にいけるリーダーの役割について学ぶ。
12		リーダー研修	事例検討をしながら教育・保育施設にいけるリーダーの役割について学ぶ。
		子どもの心に寄り添うカウンセリング研究会 8回	カウンセリングの基礎的な考え方を学ぶことによってカウンセリングマインドを身につけ、日常の保育・教育に活かす。また、幼保小の教諭・保育士が共同で研究に取り組むことによって、相互理解を深め、教育連携に役立てる。
		小児医療研修	保育者が子どもの健康及び安全に関する知識と理解を深めることを目的とする。
		リーダー研修	事例検討をしながら教育・保育施設にいけるリーダーの役割について学ぶ。
2	1	給食研修会	「食育とは何か」を原点からもう一度見つめなおし、「伝えることとつなげること」を主なテーマとして学び、今後の食育活動に活かしていく。
	1	保育・教育理念講座	保育・教育者の使命や役割と、これからの保育・教育のあり方について、保育所保育指針の動向も踏まえ、講師とともに考える。

(2) 来年度（平成29年度）に向けた検討事項

- 第三者評価に向けた園内研修を充実させる。
- メンター研修の計画、実施、振り返りに努める。
- 横浜市リズム研修に参加し、園内研修にいかす。
- 横浜3園の合同研修の充実に努める。

平成 28 年度 阿久和キッズ事業報告

1. 事業内容

○保育事業 ○延長保育事業

2. 保育園をめぐる状況

平成 28 年度は職員の入れ替わりもなく職員体制としては安定した状況でスタートすることができた。園児の受け入れ状況として 4、5 月は 1～2 名の空きががあったが 6 月からは定員に達し運営することができた。各クラス 2 人担任にし、フリー保育士として 2 名配置することができたので、事務作業など勤務時間内に少しは行えたが、後半は思うように時間が取れなかった。しかし、職員の急な休暇にも対応がしやすく通常と変わらない保育を提供することができた。地域の方や保護者の方とは保育運営の中で理解が得られないことがあったが、丁寧に話をしていくことで分かり合えることができた。また、困った時などは姉妹園や区役所に相談して、問題解決の手助けをしてもらうことができた。これからもしっかりと連携を取っていききたいと思う。阿久和保育園とはたくさんの地域交流で各種行事に参加させていただき、キッズの保護者にはとても喜ばれているので、引き続き交流を深めていきたい。

連携園に関しては、連携枠を使い、5 名の子ども達が入園できたことは、保護者の方にとって、安心感へと繋がっている。

小規模保育事業ならではの、家庭的な保育ができつつあるので、保護者との信頼関係を保ちつつ、温かい保育を展開させていきたい。

3. 重点施策

連携園との交流

阿久和保育園との交流では、様々な行事への参加、園庭利用等、いつもの保育とは違う環境で、子ども達にとって良い交流ができた。園庭利用については、囲まれている安全な環境での遊びを提供できるということで、これからも大いに活用させていただきたいと思っている。

三ツ鏡幼稚園との交流では、2 歳児がプール開放に参加させてもらった。また、観劇にも誘っていただき、はら幼稚園で行われた移動動物園に参加できたことはとても有意義であった。

お別れ遠足の行き先として、はら保育園の園庭を貸していただき、楽しい一日を過ごす事ができた。これからも、今以上に保育の場での交流を深められるようにしていきたい。

保育環境の整備

各年齢の受け入れ人数を踏まえ、更に、援助の必要な子どもの対応として、安全な環境を整える必要があったので、新たに入入り口ゲートを購入することで保育スペースを確保することができた。

年齢別保育内容の充実

様々な行事や地域交流を通してたくさんの体験ができ、保育においても充実しつつある。0歳児・1歳児・2歳児の成長発達を皆で理解し、研修への参加でスキルアップを図り保育を行ってきたが、職員一人ひとりの保育観や考え方の違いから、意思疎通の難しい事もあり、話し合う機会を設けていく必要性があると感じた。

子ども達にとって何が一番大切であるかを考えながら、保育を充実していくようにしたい。

4. 施設整備及び備品等購入

- ・防災用品の購入（ヘルメット・シューズ）
- ・職員用ロッカーの購入
- ・アレルギー用食卓の購入（2台）
- ・ベビー収納ロッカーの購入（1台）
- ・パソコンの購入（2台）
- ・各年齢に合った玩具の購入

5. 部門別保育年度達成状況（経過記録）

乳児保育部門

0歳児...5人の子ども達が過ごせるスペースを確保し、安心して過ごせる環境作りから始めた。信頼関係を築きながら、優しい声かけ、愛着心を育て取り組み、一人ひとりの発達に合わせ、お座り、ハイハイ、つかまり立ち、つたい歩き、歩行へと順調に成長している。食事においては、授乳から離乳食と進めていき、全員が乳児食を食べられるようになる。簡単な言葉を理解するようになり、戸外では様々な自然物に興味関心を持って遊べるようになった。

1歳児...アレルギー児がいたので、安全面から食事をする場所と昼寝をする場所をサークルで仕切った。食べこぼしはしっかりと拭き取り、アレルギー児には必ず保育士が1対1で対応したので、安全に過ごすことができた。子ども達の自我・主張・意欲を受け止めながら言葉かけや援助を丁寧に行うことで、一人ひとりの欲求を満たせるようになり、子ども達の笑顔が増えてきた。着替えや手洗いなど自分から取り組む姿が見られるようになり、基本的な生活習慣が身についてきている。戸外では元気に遊んで、散歩を楽しめるようになってきている。

2歳児...基本的な生活習慣が身につき、身の回りのことを自分で行えるようになる。全員がトイレで排泄できるようになり、尿意を感じると大人にそのことを伝えられるようになる。援助の必要な子どもの行動に影響を受けてしまうこともあったが、どんな時でも言葉で思いを伝えられ、保育士や友達と会話を楽しむ姿が多く見られた。戸外で遊び、散歩を通して体力がつき、友達と関わりながら楽しめるようになった。また、年下の子ども達には優しく接する姿が見られ、思いやりの心も育ってきている。

給食部門

安心安全な給食を提供できるように、丁寧できめ細やかな給食作りに努めてきた。離乳食においては、一人ひとりの状況に合わせて、担任・家庭と連絡を取りながら進め、0歳児(月齢が高かったので)全員が早い段階で乳児食へ移行することができた。アレルギー対応については、保護者・担任・栄養士で確認をして、職員全員で共通理解できるように努めてきた。また、アレルギー児も皆と同じメニューが食べられるように工夫をしてきた。

食育に関しては、食材を見たり触れたりする機会を多く設けていった。また、野菜を育て、クッキングを楽しみ、食に対しての興味関心を育てていくことができた。

6. 児童数・職員数

(1) 入所児童数(平成 29 年 3 月 31 日時点)

(単位：人)

	0 歳児	1 歳児	2 歳児	合計
4 月	4	6	6	16
5 月	5	6	7	18
6 月	5	7	7	19
7 月	5	7	7	19
8 月	5	7	7	19
9 月	5	7	7	19
10 月	5	7	7	19
11 月	5	7	7	19
12 月	5	7	7	19
1 月	5	7	7	19
2 月	5	7	7	19
3 月	5	7	7	19

(2) 職員数(平成 29 年 3 月 31 日時点)

(単位：人)

職種	園長	保育士	栄養士	調理士	事務員	看護師	合計
正職員	1	3	0	0	0	0	4
嘱託職員	0	0	0	0	0	0	
パート職員	0	6	1	1	0	0	8

7. 実施行事

(1) 実施行事一覧

月	日	名称	内容
4	1	入園・進級の日	新入園児・進級児・職員を紹介し皆で祝う
	20	0歳児 懇談会	4月の子ども様子と1年間の目標を保護者に伝える
	21	1歳児 懇談会	4月の子ども様子と1年間の目標を保護者に伝える
	22	2歳児 懇談会	4月の子ども様子と1年間の目標を保護者に伝える
5	2	子どもの日集会	子どもの日の話しを聞き、端午の節句のお祝いをする
	19	内科検診	嘱託医の検診を受ける
6	15	消防体験（地域交流）	阿久和保育園の消防体験に参加（0・1・2歳児）
	17	交通安全教室（地域交流）	阿久和保育園の交通安全教室に参加（2歳児）
	20	プール開き	プール遊びの安全を祈り、約束ごとを確認する
	22	ごっこあそび（地域交流）	阿久和保育園のごっこあそびに参加（1・2歳児）
	24	じゃがいもほり（地域交流）	当日は雨天のため、掘ったじゃがいもを持ち帰る
7	7	七夕集会	七夕飾りや願い事を書いた短冊を笹に飾り、七夕にちなんだペーパーサートを楽しむ
	22	夏祭り（地域交流）	阿久和保育園の夏祭りに参加（希望者）
	27	科学遊び（地域交流）	阿久和保育園の科学遊びに参加（1・2歳児）
	29	すいかわり	テラスですいかわりを楽しむ
8	1	プール（三ツ鏡幼稚園）	三ツ鏡幼稚園のプールで楽しむ（2歳児）
	19	プール（三ツ鏡幼稚園）	三ツ鏡幼稚園のプールで楽しむ（2歳児）
	31	プールじまい	プールで安全に楽しく遊べたことに感謝し、終わる
9	7	歯科健診	嘱託医の健診を受ける
10	8	運動会（地域交流）	阿久和保育園の運動会に参加（希望者）
	13	内科検診	嘱託医の検診を受ける
	18	さつまいもほり（地域交流）	阿久和保育園のさつまいもほりに参加（2歳児）
	20	お弁当遠足	阿久和保育園で遊び、1・2歳児はお弁当を食べる
	24	安全教室（地域交流）	阿久和保育園の安全教室に参加（2歳児）
	31	ハロウィン（地域交流）	阿久和保育園のハロウィンに参加（0・1・2歳児）
11	19	親子であそぼう会	親子で体操・手遊び・制作を楽しむ
	30	移動動物園（はら幼稚園）	はら幼稚園の移動動物園に参加（2歳児）
12	15	マジックショー（地域交流）	阿久和保育園のマジックショーに参加（0・1・2歳児）
	22	お楽しみ会（地域交流）	阿久和保育園のお楽しみ会に参加（0・1・2歳児）
1	5	子ども新年会	新年を皆で祝う
	31	人形劇（地域交流）	阿久和保育園の人形劇に参加（0・1・2歳児）
2	3	豆まき（地域交流）	阿久和保育園の豆まきに参加（0・1・2歳児） キッズで豆まきを楽しむ
	8	似顔絵（地域交流）	似顔絵を描いてもらう（2歳児）
	9	人形劇（地域交流）	阿久和保育園の人形劇に参加（0・1・2歳児）

	14	0歳児・1歳児 懇談会	1年間の子どもの成長を伝え、進級について伝える
	15	2歳児 懇談会	1年間の子どもの様子を伝え、卒園について伝える
	20	お別れ遠足	原保育園に行き遊び、1・2歳児はお弁当を食べる
	28	観劇会（三ツ鏡幼稚園）	三ツ鏡幼稚園の観劇会に参加（2歳児）
3	3	ひなまつり	ひなまつりを楽しみ、桃の節句のお祝いをする
	17	卒園式	卒園児を皆で祝う

(2) 来年度（平成29年度）に向けた検討事項

- ・阿久和保育園の地域交流は行事だけでなく、園庭開放・園舎開放にも積極的に参加し、子ども達が多く経験ができるようにしていきたい。
- ・三ツ鏡幼稚園や、はら幼稚園との交流も行っていきたい。
- ・行事は楽しめる内容を検討し、喜んで参加できるように工夫して、子ども達の成長につながるようにしていきたい。

8. 研修報告

(1) 研修報告一覧

月	日	名称	内容
4			
5	23	地域型保育事業向け衛生管理研修	基本となる衛生管理研修
	25	衛生管理講習	集団給食における衛生管理について
	30	5区合同研修	愛着に困難を抱える子ども理解と保育を通じた支援
6	3	自閉症スペクトラム障害の理解（高機能編）	子どもの発達と自閉症スペクトラム障害の基礎知識
	6	NLPを活用した実践コーチング研修	部下との信頼関係を築き部下の目標達成に即活用できる
	14	5区合同研修	新たな保育支援の在り方を考える
	21	乳児保育研修 0歳児編	0歳児の発達過程・保育技術について学び、保育士としての質の向上を目指す
	22	食物アレルギー緊急時対応研修会	食物アレルギーの基礎知識と緊急時のエピペン対応
7	14	食物アレルギー講習会	保育所におけるアレルギー対応
	17	食物アレルギー講習会	アレルギー疾患について正しく理解し、職員の資質向上
	25	5区合同研修	困難を抱える保護者の理解と、関係の取りづら保護者への対応
8	23	乳児保育研修 1歳児編	日々の保育を振り返り、明日からの保育に活かす機会にする
9	1	瀬谷区リーダー研修	テーマを決めグループワーク
	8	研修手法講座	園や施設全体、保育士の質の向上につながる園内の研修手法の基礎知識、具体的な技法等を学ぶ
	10	ケロポンズの遊びネタセミナー	保育実践に活かせる歌や手遊びを学び、保育技術を高める
	13	5区合同研修	求められる保育人材とその育成
	26	食品衛生責任者講習会	平成27年、食中毒発生状況など

	29	乳幼児保健研修	口から学ぶ乳幼児の発達、口からのぞく子どもの心と体
10	4	保護者対応と職員のメンタルヘルス研修	保護者対応とメンタルヘルスを学ぶ
11	18	瀬谷区リーダー研修	テーマに沿ってグループワーク
1			
12	12	瀬谷区リーダー研修	グループワークの発表
2	7	乳児食講習会	発達に合わせた食事と保護者への支援
	18	横浜3施設の合同研修会	書式の記入方法、内容を話し合う・リズム研修
	22	甲種防火・防災管理講習	防災管理の意義と制度の概要・地震対策・自衛消防
	23		防火管理の進め方と消防計画
23	地域型保育事業向け栄養管理研修	栄養管理の基礎	

(2) 来年度（平成29年度）に向けた検討事項

- ・職員自ら研修に参加したいと思えるような雰囲気を作っていく。
 - ・園内研修では、直ぐに実践できるような保育技術を学んでいくようにしたい。
- また、子ども達にとって必要なことや、年齢別の成長についての理解を深めていくことができるように、研修内容を職員で検討していきたいと思う。

以上

平成 28 年度 ごしよの保育園事業報告

1. 事業内容

- ・ 保育事業
- ・ 一時預かり事業
- ・ 延長保育事業
- ・ 病児保育（体調不良児対応型）事業
- ・ 障害児保育事業

2. 保育園をめぐる状況

平成 28 年度は、平成 29 年度受審予定の第三者評価に向けてマニュアルの見直し、改善を図った。職員にも周知し、一緒に考えてもらうきっかけとなるよう園内研究としても組み込み、若い職員からも積極的な意見が聞けるよう工夫しながら討論の場を重ねてきた。

園内の保育環境整備としては、電気の LED 化、乳児室マットの購入、4・5 歳児の椅子の購入（保護者会より負担分有）、跳び箱、パネルシアター板の購入を実現させることができ、保育教材充実化にも力を入れることができた。地域との交流に関しては、職員の交流だけではなく、同地区小学校での幼保小の交流会(1 年生・5 歳児参加)を行うことができた。また、同地区中学校・高校・地域住民との合同避難訓練に招待していただき、参加することで、地域の中の一員として自覚する機会になったのではないかと思う。

職員の在職状況については、年度途中で 3 名が自己都合により退職したものの年度末で退職した職員はいなかった。平成 29 年度に向けては、各部門（保育、栄養、看護）で人材に余裕を持たせることで、勤務時間内に仕事ができるよう保育士、厨房ともに採用職員を増やし、体制を整えている。職員が働きやすく、優先順位を考えて要領よく職務を遂行することができるよう、引き続き環境を整えていきたい。

3. 重点施策

1. 第三者評価受審に向けて知識を深める

29 年度の第三者評価受審に向けて、27 年度からマニュアルの見直しと改善に努めてきた。28 年度は、そのマニュアルの周知期間と共通理解をテーマに園内研究を行ってきたが、マニュアルをベースとする周知がまだ徹底していない分野があることと、追加しなければいけないマニュアルがあるため、29 年度は主にその部分を中心に進めていきたいと考えている。

2. リズムを深める

28年度は、定期的に新しいリズムを追加しながら、リズムを通して成長する部分を大切にした指導をしていくことを重点とし、子どもたちと楽しめるようにしてきた。しかし、職員の中でも理解度によって、子どもへの伝わり方にまだ差が見られるところから、29年度も引き続き理解を深めながら、各リズムの特徴を活かした指導ができるよう取り組んでいきたい。

3. アレルギー対策の徹底

27年度の入園児にアレルギーを持っている子どもが多かったことを受けて、28年度は誤食を防ぐために個人の食事用テーブルを用意したり、他児のエプロンやおしぼりと混ざらないように個人に給食袋を用意してもらったりと、各クラスや厨房の職員と話し合って改善を図ってきた。ヒヤリ・ハットに該当する事例がある度に、その都度改善を図っているが、現状に満足することなく、引き続き改善を図っていきたい。

4. 施設整備及び備品等購入

・ LED電器取り替え工事

予定通り、一部照明の蛍光灯が廃盤になって取り換えることが出来なくなったため、5月にLED電器の取り換え工事を行うことができた。工事中・工事後共に、園児の生活に支障なく進めることができた。

計画時予定金額	7,000,000 円	実際にかかった費用	6,722,000 円
---------	-------------	-----------	-------------

・ 自動火災報知

消防の査察後、取り換えた方が良いとの指導を受け、発注する。しかし、秋田市内の別件の火事への対応があるとのことで（業者側）、納品が遅れ、年度内に設置してもらうことができなかった。29年度初めには、対応してもらうことができるよう、呼びかけている。

・ 4・5歳児椅子購入

これまで使用してきた幼児用椅子の老朽化のため椅子の購入を予定していたが、保護者会から、子どもたちが使う物を寄贈したいとお話があったことを受けて、保育園で購入を予定していた幼児用椅子の購入補助をしていただいた。そのため、当初予定していた予算よりも園側の負担額が少なくなっている。

計画時予定金額	700,000 円	実際にかかった費用	32,000 円
---------	-----------	-----------	----------

・ マット購入

2歳未満児の保育室整備の一環でマット(遊び用、転倒時ケガ防止対策)を購入した。

実際にかかった費用	185,000 円
-----------	-----------

・ 2歳児保育室カーテン整備

2歳児保育室のブラインドの破損が数か所あったため、カーテンの整備を行った。

実際にかかった費用	199,800 円
-----------	-----------

・ ホームページのリニューアル

保育園側で発信したい情報が増えてきたことと、見直したい部分が発生してきたことをうけて、ホームページの全面リニューアルを行った。

実際にかかった費用 194,400 円

5. 部門別保育年度達成状況（経過記録）

(1) 乳児保育部門

(○ ごしょの保育園保育課程より、28年度の反省を受けての29年度のねらい)

0歳児（いちごくみ）

○保育者の愛情のもと、一人一人の生理的欲求が満たされ、健全な生活を送る。

28年度は、授乳や食事の進め方について不安を感じる保護者が多かったことを受けて、厨房との連携を強化した。また、うつぶせの姿勢で寝るお子さんが多かったので、その都度体勢を整えたり、睡眠時の呼吸をチェックしたりしてSIDSを防ぐよう努めた。

また、個人月案・記録の見直しも図り、改善したことで、より子ども一人一人に寄り添った保育を心掛けた。月案と記録を同じ紙面上におさめたことで、担任からも摺合せしやすい、つながりを持った関わりができるとの意見があった。計画、記録を上手く活用し、PDCAを意識した保育をしていくようにする。

身の回りの簡単なことに対して、自分でやろうとする気持ちを持つ。

1歳児（ばななくみ）

○保育者に見守られながら、身近な人や物に興味を持ち、関わりを広げる。

28年度は、アレルギーを持つ子どもが多く、年度が始まる前から対策を考えた。対策としては、食事・おやつ時に、個人用のテーブルを用意し、誤食を防止する、各自給食袋を準備してもらい、他児のエプロンやおしぼりからのアレルギー物質の付着を防ぐ等である。誤食につながるケースはなかったものの、クラス会や厨房会議等の中で、その都度疑問に感じたところ、ヒヤリハットを通して改善が必要な場合は、話し合っより誤食が防げる方を選択してきた。

また、園外へも積極的に出かけ、他クラス（異年齢児）や地域の方と挨拶を交わしたり、会話をすることで、家族や保育者以外の人とも関わりを広げることが出来たと思う。

食物アレルギーを持つ子どもが多いため、保育者と保護者で連携を図り、子どもが安全に食事できるようにする。

2歳児（ももくみ）

○保育者や友達と生活する中で、様々な事に興味や関心を持ち、自分でやろうとする意欲を持つ。

2歳児では、身の回りの自立を主なねらいとし、3歳児に進級するまでに育てたい事項を担当間でクラス会ごとに確認しながら、保育を進めてきた。その月ごとではなく、1年間の見通しを持って進めてきたことで、個人の進捗状況に合わ

せて無理なく自立を促すことができたのではないかと思う。必要な場合は、保護者にも協力を仰ぎながらトイレトレーニングや箸を使った食事を、個人のペースに合わせて進めることができた。

身の回りの事象に興味や関心を持つ中で、様々な事に挑戦しようとする気持ちを持つ。

(2) 幼児保育部門

3 歳児 (めろん・みかんくみ)

○保育者や友達とかかわる中で自分の気持ちを出しながら遊びを十分に楽しむ。

3 歳児では、必要な保育士の人数が 2 歳児よりも減ることで保護者が不安を感じることはないよう、おたより等で園側の取り組みを伝える努力をしてきた。担任も一人一人に丁寧な対応を心掛けてたことで、担任に受け入れてもらったという安心感を持ち過ごすことができていた。

個人持ちになる教材もあるため、大切に扱うよう、活動の度に伝えるようにしてきた。

生活や遊びの中では、気持ちを上手く相手に伝えることが出来なかったり、理解できずにトラブルになることも多かったが、保育者が互いの気持ちを聞いて代弁し解決に導くことを心掛けた。年度の後半には思いを自分で伝えたり、相手の気持ちを考え気づくことができるように仲立ちをしてきたことで、友達の思いにも気付ける子どもが増えてきていた。

思いやりの気持ちを持ちながら、お互いに助け合って行動できるようになる。

4 歳児 (ゆりくみ)

○友達とのかかわりを通して、心を豊かにし、目的を持って行動する。

28 年度の 4 歳児は、体を動かすことに意欲的で、運動器具を使用した遊びにも積極的に取り組む姿が見られた。そのような姿を大切にしつつも、安全に遊ぶことができるように、環境作りに配慮してきた。また、出来るまで繰り返し練習するという気持ちを持っている子どもも多かったので、満足するまでやり遂げることができるよう、できるだけ時間を確保するため、時間配分を考えて活動を行うようにしてきた。年度の後半には、運動以外の活動にも意欲的になる姿が増え、詩や歌に対しても楽しそうに取り組む姿が見られていた。

様々な活動に対して、自発的に行動することができるようになる。

5 歳児 (ばらくみ)

○友達と経験する様々な活動を通して、仲間の意思を大切に、考えて行動できるようになる。

5 歳児は、身の回りの事に関する自立は 4 歳児でほぼ達成できていたものの、受け身で行動する子どもが多く、保育者の指示を待っていることが多かった。クラス会等でも議題に上がり、クラスに関わる職員で関わり方について検討を繰り返した。子どもたちの間で問題が起きた時に、子どもに考えさせる部分を増やし、

保育者が不必要に発言をしないよう心掛けてきたところ、子どもから意見が上がるが増え、小さな問題は自分たちで解決できるようになった。そのような姿が増えたことで、年度の終わりには、協同的な関わりが多く見られるようになった。

(3)給食部門

地産地消を心掛け、できるだけ県産食材を使用して食事を提供することができていた。食育活動の一環として行っているクッキングでは、ほぼ年間計画通りに活動を進めることができていた。また、担任からやってみたいと意見が出た食育活動に対しても、好意的に受け入れ、活動の後押しをして準備等で協力をすることができていた。

アレルギーに関しては、ヒヤリハットの事例をもとに、クラス担任ともこまめに連携を取りながら日々改善に取り組み、改善のための様々なアイデアも多数出し、実現させることができていた。

食中毒等の感染症に関しても、アンテナを常に張り巡らせ、厨房職員だけではなく園全体の職員にも、手洗い消毒の徹底を職員会議で呼び掛けるなど、感染防止にも努めることができていた。

(4)子育て支援部門

28年度も、地域施設と連携を取りながら未就園児に対して子育て支援活動を行う事ができた。10月に行なった給食試食会では、給食を食べながら様々な悩みや相談にも対応し、保育士を始め、栄養士も相談にのることが出来る体制を作った。年間の反省としては、保護者や子どもが満足する活動の提供ができていくかという部分について考えさせられる部分があったことを受けて、29年度は活動全般の見直しと改善を図ると共に、ホームページやポスターを使った活動の発信の仕方も新しく考えていきたいと考えている。

(5)地域との交流部門

28年度は、同地区の小学校1年生、幼稚園の年長児、保育園児(5歳児)が、小学校の体育館にて交流の場を設けることができた。29年度は、より有意義な交流ができるようしっかりと連携のねらいを持って関わることができるようしていきたい。

同地区の中学校、高校からは地域の方も参加する避難訓練に呼んでいただいた。29年度も引き続き交流していただくことができるよう、また受け身だけの参加にならないよう、様々な行事等を通して積極的に連携をとっていきたい。

28年度に同地区に設立された障害児入所施設の職員や子ども達との交流がとんどできていなかったのもので、29年度からは各行事の際にご案内状を送付し、参加していただけるような取り組みをしていきたいと考えている。両園に無理のない形で少しずつ交流を深めていきたい。

(6)姉妹園交流部門

27年度、28年度と、年に1回ずつ監査の情報交換と栄養士の会を行うことができた。今後は、保育、衛生の分野でも定期的に情報交換を行いながら、保育の質の向上に努めていきたいと考えている。

6. 児童数・職員数

(1) 入所児童数(平成 29 年 3 月 31 日時点)

(単位：人)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
4月	15	33	33	34	32	32	179
5月	18	33	33	34	32	32	182
6月	21	33	33	34	32	32	185
7月	23	33	33	34	32	32	187
8月	24	33	33	34	32	32	188
9月	27	33	33	34	32	32	191
10月	30	33	33	34	32	32	194
11月	33	33	33	34	32	32	197
12月	34	33	33	34	31	32	197
1月	34	33	33	34	31	32	197
2月	34	33	33	34	31	32	197
3月	34	33	33	34	31	32	197

(2) 職員数(平成 29 年 3 月 31 日時点)

(単位：人)

職種	園長	保育士	栄養士	調理	事務職	看護師	保育補助	合計
正職員	1	14	1	0	1	1	0	18
嘱託職員	0	4	1	3	0	1	0	9
パート職員	0	20	0	0	1	0	1	22

7. 実施行事

(1) 実施行事一覧

月	日	名称	内容
4	1	進級・新入日	
	9	保育園懇談会・ごしよの会総会	保育園や保護者会の昨年度の活動内容報告や今年の方針について話し合う。
	12	おおきくなったね おめでとうの会	進級・新入をみんなでお祝いする。
	19	交通安全・防犯教室	東警察署の方をお招きし、交通安全や防犯についての知識を教えていただく。
	28	端午の節句集会	端午の節句をみんなでお祝いします。
5	17 24 31	内科検診	3回に分けて園医の細谷先生に来ていただき検診を受ける。
	25	さつまいも苗植え (シルバーエリアにて)	地域施設の畑にて、高齢者施設の方に教えていただきながら、さつまいもの苗植えを行う。 (かわしり保育園と合同)
6	4	保育参観・参加	お子さんと一緒に保育園での過ごし方を知り、遊びを楽しむ。
		ささまき会(けやき会)	地域高齢者施設からご招待を頂き、ささまきの作り方を教えてもらう。
	22	歯科検診	園医の平塚先生に来ていただき、検診を受ける。
	24 25	お泊り保育	年長児が岩城少年自然の家で一泊する。
7	7	七夕集会	子ども達の願いを短冊に書いて飾り、行事の由来について知る。
	30	夏まつり	園児とその家族と地域の方で、夏まつりを楽しむ。
8	1	かわしり保育園竿燈壮行会	竿燈に参加するかわしり保育園児を応援しに行く。
9	17	運動会	御所野小学校のグラウンドや体育館で運動遊びや競争をして楽しむ。
10		遠足	学年ごとに園バスに乗って出かける。 (3歳以上児は家庭からお弁当を持参)
	4 18 25	内科検診	3回に分けて園医の細谷先生に来ていただき検診を受ける。
	13	子育て支援 給食試食会	未就園児と保護者が保育園に来て給食を試食する。
11	10/31 ~ 4	自由保育参観・参加週間	保護者の方にも“1日保育士”になってもらい、保育に参加してもらう。
	9	防災訓練	5歳児と職員が、地域の中・高校、地域の方とともに防災訓練を行う。
	26	発表会	普段の保育園での生活で身に付けたことを演目の内容に組み込み、秋田テルサにて行う。
12	22	クリスマス会	みんなでクリスマスを楽しむ。

1	11	新年を祝う会	新年をみんなでお祝いする。
	14	給食試食懇談会・ごしよの会総会	保育園や保護者会の今年度の活動内容報告をしたり、給食を試食してもらう。
		個人面談（1～2月にかけて全員）	新年度に向けての説明と、子どもの様子を伝えるため、全在園児の保護者と面談を行う。
2	3	節分集会	みんなで集会をして節分についての由来を知る。
	18	年長保育参観・クラス懇談会	卒園の思い出になるものを親子で力を合わせて作ったり、歌や詩を聞いてもらったりする。クラス懇談会では、卒園前の子ども達の様子についてお伝えする。
3	3	ひなまつり会	みんなで集会をして、ひなまつりの由来を知り、お祝いする。
	5	卒園式	シルバーアリアの多目的ホールで、年長児の卒園をお祝いする。
	6	民生・主任児童委員さんとお話の会	民生・主任児童委員さんをお招きし、今年度の保育園の様子や頂いたご意見・苦情とその対応を伝え、助言を頂く。
	8	ぱらくみさんとさよならの会	卒園児との思い出を振り返りながら、たくさん遊んでくれてありがとうの気持ちを込めて、プレゼントや歌のやり取りをする。

* この他、毎月1回、避難訓練、誕生会を行っている。また、2歳児以上のクラスは、月に1回バスでのお出かけを行った。（冬季は除く）

(2) 来年度（平成29年度）に向けた検討事項

・英語遊び

国際教養大学から車で15分の距離に位置することで、ここ数年の間に外国人のお子さんの入園希望や一時預かりの希望が何件か寄せられている。今後もこのような希望が増えることを予想し、職員の英語力を養うことができると考えている。研修として、勤務時間も利用しながら勉強することができる環境作りを考えていきたい。

また、小学校でも英語の授業が行われていることや、保護者からの要望もあることなどを踏まえ、子どもたちが英語に触れていく時間も積極的に取り入れていきたいと考えている。

・リズム

全職員が各リズムについて、共通理解をしながら子どもたちと楽しむことができるように、研修等に参加し、園内研修を行いながらリズムについての知識と理解を深めていきたいと考えている。

8. 研修報告

(1) 研修報告一覧

月	日	名称	内容
4	14	園長等運営管理協議会	平成 28 年度幼保推進課指導の重点について 他
	20	新規採用者研修	秋田県が大切にしている乳幼児の教育・保育について 他
5	16	教頭・主任等研修会	平成 28 年度幼保推進課指導の重点について 他
	19	新規採用者研修	子どもを理解することと保育者の関わり 他
	20	食物アレルギー対応等研修会	食物アレルギー及びアナフィラキシー発症時の対応 他
6	2 3	秋田県保育研究大会	子ども子育て支援制度について 他
	8	新規採用者研修	子どもの姿と保育者の関わりについて 他
	10	秋田市民間保育所 認定こども園協議会	実践的な食物アレルギー対応・離乳食について 他
	23	10 年経験者研修	本県就学前教育・保育の目指すところ 他
	29	デイリープランニング研修	デイリープランニングについて 他
7	1	秋田県保育士会ブロック別勉強会	あしたにつながる保育の展開 他
	1	南部地区幼保小前期連絡協議会	個別の支援を必要とする子どもへの早期対応と教職員の連携他
	5	南部地域子育て支援 ネットワーク研修会	手作り玩具の製作 他
	12	10 年経験者研修	就学前教育と小学校教育の学びと接続と連携 他
	13	主任保育士部会	「避難所と暮らし」～子どものストレス反応への対応他
	14	施設見学	港北チャイルド園の施設見学
	20	職場のストレスに対する メンタルヘルス対策について	職場のストレスに対するメンタルヘルス対策について
	22	給食担当者部会	手軽に作れるおやつ作り 他
	27	秋田市幼児発達支援事業説明会	キッズステップノートの活用状況について 他
	27	10 年経験者研修	教育課程・保育課程の編成 他
	28	特定給食施設研修会	日本食品標準成分表 2015 年度（7 訂）について 給食施設での活用 他
	28 29	新規採用者研修	子どもの発達に応じた遊び 他
29	明橋大二先生講演会	「子育てハッピーアドバイス」 ～自己肯定感を育む子育て支援を考える～	
8	2	園内研修リーダー養成講座	園内研修の意義、計画の作成と効果的な研修の進め方他
	3	生活科研修会	生活科の授業力を高める 他
	5	就学前・小学校中央地区合同研 修会	接続期で大切にしたい子どもの育ちや学び
	19	特別支援教育研修会	発達障害のある子どもの理解と支援の在り方 他

	25	秋田県保育士会広報研修会	伝えるということ～その難しさと喜び～
	25	10年経験者研修	各エレメントの体験と指導法・PA理論の応用 他
9	2	南部地域子育て支援ネットワーク連絡会	秋田市ファミリーサポートセンター事業について 他
	2	少数派の子どもたちの理解と支援	障害特性に応じた配慮や指導の工夫 他
	5	秋田県保育士会実技研修会	身近にあるもので簡単に手作り玩具
	6	「心と身体の健康」講演会	職場のメンタルヘルスについて ～ストレスとどう向き合うか～他
	7	乳幼児(0～2歳児)保育研修会	乳幼児一人一人の育ちの理解と保育者の援助 他
	14	10年経験者研修	子ども・保護者に伝わる言葉かけ～伝えると伝わるは違う～他
	15	秋田市児童福祉施設給食関係者研修会	食べる機能の発達と口腔衛生 他
	16	調理員部会 オープン調理講習会	オープン調理の実演 他
	28	新規採用者研修	子どもの姿と保育者の関わりについて 他
10	1	西柴保育園 運動会	運動会の見学
	5	後期南部地区幼保小連絡協議会	保育参観(上北手保育園) 他
	7	秋田市感染症予防研修会	インフルエンザと感染性胃腸炎の感染予防 他
	14	給食担当者部会	調理室の実践的な衛生管理 他
	17	秋田市議会厚生委員との懇談会	新しい保育指針、教育・保育要領とこれからの保育 他
	18	新規採用者研修	豊かな心を育む絵本の読み聞かせ 他
	27	10年経験者研修	子どもを「見る」とは～子どもの心と保育者の気持ち～
	28 29	日本女性会議2016秋田	多様性に対応する秋田の子育て 他
	31	主任保育士研修会	保育の質を高めるために～リーダーとして大切なこと
11	8	教頭・主任等研修会	記録をもとにした指導計画の改善 他
	8	主任保育士部会	子育てと保育の現場に役立てる色育と色彩心理 他
	11	調理員部会	飾り手巻き寿司の調理実習
	15	しつけと体罰 ～子どもの内なる力を育てる道筋～	しつけと体罰～子どもの内なる力を育てる道筋～
	24	新規採用者研修	乳幼児の発達理解に基づく環境の構成と援助 他
1	5	10年経験者研修	乳幼児の主体的な活動を保障する環境の構成と保育者の援助 他
	5	新規採用者研修	乳幼児理解と保育～先輩保育者の実践に学ぶ～ 他
	16	食育研修会・地産地消交流会	青森県初!「だし活」で短命県返上 他
	25	学校保健課題解決秋田県研修会	子どもの眠りと心身の健康～生活習慣の見直しを含めて
2	9	保育所・認定こども園	保育分野の現状と取り組みについて 他
	10	リーダートップセミナー	
	17	子どもを支える運動研修会	保護者とともに子どもの心を育むために ～保育が見えれば保護者も変わる～他

(2) 来年度（平成 29 年度）に向けた検討事項

園外研修

28 年度の各職員が自分で設定したねらいや、職員に伸ばしてほしいところを考慮し研修を組むようにしてきたが、すべての職員の希望に添えなかった部分がある。そのため、29 年度も、各職員設定するねらいをもとに、研修計画を立てていきたい。

園内研修

○第三者評価に向けて園内で共通理解を図るため、定期的（月 1 回）にマニュアルをもとに勉強会をしていきたい。

○保育所保育指針の改定に伴い、白梅大学の汐見教授をお招きし、かわしり保育園と合同で園内研修を行いたい。

また、保育所保育指針の理解につながる活動として、

- ・改定に関する情報を集め、必要な情報を全職員に回覧する。
- ・職員会議等の時間を活用して、みんなで考える機会を設ける。

などを行っていきたい。

園内研究

○園内研究としては、研究部から以下の意見が出たため、これを考慮した研究となるよう進めているところである。

< 研究部より >

- ・資料作りの経験は必要 保育を理論立てて客観的にとらえることが大切
- ・他の保育士の保育を見たことが、今の自分の保育につながっていることを考えれば、公開保育を含めた園内研究は必要だと思う。
- ・他の保育者から保育を見てもらうことで、良い点もそうでない点も気づくことができると思う。
- ・やる人とやらない人がいると、意識の違いが生まれるので、全員が関わるものにした方がよいのではないか。（各クラスで進めてみては？）
- ・職員の自主性を持たせるために、自分たちでクラスの課題を見つけ、それに応じた研究テーマにするのはどうか。

ただ、何もないと方向性が分からなくなる可能性もあるため、大きなテーマを設ける、もしくは、テーマをいくつか提示し、選択制にするのはどうか。

（ひやりはっと、保護者対応、幼児理解、非認知的能力など...）

- ・1, 2 年目は、例年通り、自分で選んだ絵本についての園内研究を行なう中で、簡単な資料作りを行いたい。
- ・絵本の園内研究を行なわないクラス担任で、クラス毎に研究を進めていくのはどうか。

以上

平成 28 年度 かわしり保育園事業報告

1. 事業内容

- ・ 保育事業
- ・ 休日保育事業
- ・ 一時預かり事業
- ・ 延長保育事業
- ・ 地域子育て支援事業

2. 保育園をめぐる状況

職員数が少なかったが、例年以上に園児の入所人数を少なくし、在園児の保護者が安心して登園してくれるように心がけた 1 年でした。また、一時預かり、休日保育の受け入れを最低限の人数とし、できる限り、在園の子ども達、保護者の要望に応えるようにしました。そのせいか、大きな事故、怪我もなく、スムーズに子ども達の受け入れができたように思います。

保育園数の増加、認定こども園の増加、他保育園の定員増を受け、かわしり保育園として何ができるのか考えさせられた年でもありました。

3. 重点施策

1. 職員の資質の向上

平成 27 年度の保育所保育指針の読み合わせを受け、今年度は、自園の保育目標、保育の方針などを読み合わせ、理解を深めるように心がけました。職員からは、園に対する理解が深まったこと、日頃行っている活動、保育の流れなどを改めて考えることができて、良い機会になりました。

次年度も私達の根底にある保育目標を理解し、周知していくと共に、保育運営に活かせるようにしていきます。

2. 防火訓練の強化

災害時のみならず、日頃の保育の時に、話を聞く姿勢、いざという時の職員体制について改めてマニュアルを見直すことが多い年でした。時に、爆破予告に対する対応の際には、職員の役割分担を改めて確認する機会となりました。非常時、緊急時対応について実践を交えて学ぶことができたように思います。今回の経験を活かしていきたいです。

また、今年はオリンピックがあったこともあり、たくさんのスポーツ教室に参加することができました。次年度も体を動かす機会をたくさん取り入れていきます。

3. 園内外の修繕・備品の購入

昨年度、中庭に設置している箕の子の話が出ていたが、園内を点検し、必要とされる備品を確認し、購入しました。また移管時に秋田市から頂いていた備品も古くなっているものが多いので、次年度も備品、修繕の箇所の確認、見直し、検討をしていきます。

4. 一時保育・休日保育の利用者拡大

保育園をめぐる状況でも述べたように保育園、認定こども園の増加に伴い、一時預かりの需要が減ってきていると同時に、職員数が少なかったため、休日保育、一時預かりの人数を最低限の受け入れとしました。利用者数の拡大にはつながらなかったため、今後の受け入れについては検討していきます。

4. 施設整備及び備品等購入

・3歳児用テーブル・椅子・4歳児用テーブル・5歳児用テーブルの購入	44万2000円
・金庫、書庫の購入	28万円
・0歳児用テラスの修繕(バイオクッション使用)	16万円
・消火器(9本)	6万8000円
・園庭の砂場の砂補充	8万1000円
・竿燈用提灯	5万7000円
・ゴミ箱	10万円
・避難用滑り台	97万8480円
・ガスボンベ用小屋	13万5000円

5. 部門別保育年度達成状況(経過記録)

・乳児保育部門 受け入れの人数が少なかったため、大きな怪我もなく安心して過ごすことができました。感染症も少なく、先生達の衛生面での指導が行き届いていたことが伺える1年でした。

・幼児保育部門 オリンピック開催もあり、さまざまなスポーツ(サッカー、ラグビー、水泳、カポエイラ、体操)に興味、関心を持って取り組み、子ども達も意欲的に参加できていました。

・給食部門 監査での指摘(給食提供のカロリー数が見合っていない、カルシウム、鉄分の摂取量が少ない、栄養管理システムが入っていない、など)が多く、職員間で一緒に考えながら給食の提供を考えました。次年度も検討しながらの安全、安心、美味しい給食の実施を心がけていきたいです。

・子育て支援部門 園開放への来園者が少なく、次年度も検討が必要。講話会でも保護者のニーズを把握することが難しかったためか、来園者がいなかったです。一時預かりは希望者の減少、近隣園の定員増加、認定こども園の増加、自園の職員数の減少により、受け入れを最小限としました。

6. 児童数・職員数 (空欄に数字を記入)

(1) 入所児童数(平成 29 年 3 月 31 日時点)

(単位：人)

	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合計
4 月	5	1 2	1 3	1 3	1 3	1 2	6 8
5 月	5	1 1	1 2	1 3	1 3	1 2	6 6
6 月	7	1 1	1 2	1 3	1 3	1 2	6 8
7 月	7	1 1	1 2	1 3	1 3	1 2	6 8
8 月	7	1 0	1 2	1 3	1 3	1 2	6 7
9 月	8	1 0	1 2	1 3	1 1	1 2	6 6
10 月	8	1 0	1 2	1 3	1 1	1 2	6 6
11 月	1 1	1 0	1 2	1 3	1 1	1 2	6 9
12 月	1 1	1 0	1 2	1 3	1 1	1 2	6 9
1 月	1 1	1 0	1 2	1 3	1 1	1 2	6 9
2 月	1 2	1 0	1 2	1 3	1 1	1 2	7 0
3 月	1 3	1 0	1 2	1 3	1 1	1 2	7 1

(2) 職員数(平成 29 年 3 月 31 日時点)

(単位：人)

職種	園長	保育士	栄養士	調理士	事務員	看護師	合計
正職員	1	8	1	0	0	0	1 0
嘱託職員	0	3	1	0	0	0	4
パート職員	0	5	0	1	1	1	8

7. 実施行事

(1) 実施行事一覧

月	日	名称	内容
4	5	進級・新入を祝う会	進級・新入したことをみんなでお祝いしました。
	22	バス試乗会	姉妹園のバスを借りて、試乗会をしました。
	27	御山野楽校じゃがいも植え	姉妹園の子ども達とじゃがいもの苗植えをしました。
5	2	端午の節句集会	端午の節句を先生達とお祝いしました。
	13	お話の会のはらさん来園	絵本の読み聞かせのボランティアの方が来園しました。(年3回実施)
	19	内科健診	囑託医の先生から園児の健診して頂きました。
	27	親子遠足	お家の方と一緒に大森山へ遠足に行きました。
6	1	歯科健診	囑託歯科医に園児の歯科健診をして頂きました。
	7	グリーンエコプロジェクト	秋田西武実施のゴーヤー苗植えに参加しました。(収穫も参加)
	18	清掃日	保護者の皆さんと一緒に園内外の清掃を行いました。
	29	にっぽん丸出港イベント参加	にっぽん丸の出港イベントに参加しました。
7	7	七夕集会	友達や先生と七夕を楽しみました。
	28	竿燈練習最終日	川尻本町さんから竿燈指導を受けました。(年8回)
8	1	竿燈壮行会	竿燈に参加するぞうくみさんをみんなで応援しました。
	3	竿燈参加日	年長児のぞうくみ、卒園児1年生、職員で秋田市竿燈祭りに参加しました。
	18	個人面談週間	在園児の全保護者と子ども達について話し合いました。(3週間実施)
	26	お泊り保育	宿泊施設 まんたらめに年長児、職員で泊まりました。
9	5	ラクビー教室	秋田ノーザンブレッツの選手からラクビー指導を受けました。
	10	運動会	保護者や職員、お家の方と運動会を楽しみました。
	28	カポエイラ教室	後藤さんからカポエイラを教えて頂きました。(年3回)
	29	AAC	以上児が水泳教室に参加しました。(年3回)
10	14	シルバーエリアさつまいも堀り	ごしょの保育園とさつまいも堀りに参加しました。
	19	スポーツ教室	秋田市主催のスポーツ教室に参加しました。
	20	山王幼稚園秋祭り参加	山王幼稚園主催の秋祭りに参加しました。
	26	ハローウィンパレード	手作りの衣装を着てパレードをしました。
11	5	講話会	食育についての講話、男性保育士部会の劇を見ました。
	7	サッカー教室	サッカー協会主催のサッカー教室に参加しました。(年2回)
	18	川尻小総合学習のため来園	川尻小5年生の総合学習に参加しました。
	26	お楽しみ発表会	保育園ホールで発表会をしました。保護者も参加。
12	12	交通安全教室	秋田市交通指導の方から交通安全について学びました。(年3回)
	22	クリスマス会	先生や友達と一緒にクリスマスを楽しみました。
1	6	新年を祝う会	書初めを見たり、書道の先生から書初めを教わったりしました。
2	3	豆まき会	みんなで豆まきを楽しみました。
	25	保護者会総会・懇談会	保護者会総会の後、クラス別懇談会を行いました。
	27	不審者侵入訓練	アルソックと一緒に不審者訓練を行いました。(年2回)
3	2	ひなまつり会	ひな祭りをみんなでお祝いしました。
	4	卒園式	年長児 ぞうくみさんの卒園を保護者、地域の方と祝いました。
	28	ぞうくみさんとのお別れ会	ぞうくみさん、退職する先生とのお別れ会をしました。

* 毎月、第三火曜日に保護者参加の誕生会を実施しました。誕生会后、希望する方に保育参観、給食試食会を実施しました。

* 毎月、月末の金曜日、避難訓練を実施しました。(不審者訓練、津波訓練も実施)

(2) 来年度(平成29年度)に向けた検討事項

・誕生会を保護者参観とし、7年が経過しました。誕生会の内容にマンネリ化が見られたので、年度後半から先生達からのお楽しみ(劇、マジックショー、合奏など)を保護者、誕生児も参加型のお楽しみとしました。保護者にも好評なので、お休みを取っても参加したいと思えるような誕生会づくりを今後も検討していきます。

・平成28年度はオリンピックが開催されたこともあり、スポーツに興味、関心をもつ園児が多かったです。スポーツを通して学べる事も多々あるので、次年度も積極的に行っていきます。

・かわしり保育園の近隣に住んでいる方との交流を深めていきたいです。山王幼稚園で茶道教室を開催している先生からも声をかけて頂いたので、平成29年度、茶道へ触れる機会を作っていきたいです。またカポエイラ教室を開いている後藤さんから体操スタジオへの訪問のお話も頂いているので、検討していきます。

・行事の際、自家用車で来園が増加しています。近隣の空駐車場を借りることができるようになったので今年度、駐車場管理者の方と相談しながら積極的に利用していきます。

8. 研修報告

(1) 研修報告一覧

月	日	名称	内容
4	初旬	保育理念、内容の読み合わせ	職員会にて読み合わせを行う。
	下旬	保育理念への思いを記入する。	自己評価表と共に「子どもの最善の利益」についてそれぞれ記入する。
5	初旬	研究チームによる話し合い	かわしり保育園をより良い保育園にしようというテーマの元、話し合う。
6	初旬	研究チームによる職員アンケート実施	保育園のしおりを読み直し、疑問に思うことをアンケート調査する。
7	中旬	アンケートまとめ	職員間でアンケートをまとめ、公表する。
9	2 8	園内研修	1グループによる保育園のしおりの内容についての話し合い。
	2 9	園内研修	2グループによる保育園のしおりの内容について話し合い。
10	1 1	園内研修	1グループによる保育園のしおりの内容についての話し合い。
	1 2	園内研修	2グループによる保育園のしおりの内容についての話し合い。
11	9	園内研修	1グループによる保育園のしおりの内容についての話し合い。
	1 0	園内研修	2グループによる保育園のしおりの内容についての話し合い。
12	7	4歳児公開保育	4歳児公開保育。資料を添付し、職員も参加して参観。
	8	4歳児公開保育 ・反省会	参観後、グループに分かれ、話し合う。
	2 0	1歳児公開保育	1歳児公開保育。資料を添付し、職員も参加して参観。
	2 1	1歳児公開保育 ・反省会	参観後、グループに分かれ、話し合う。
1	1 1	5歳児公開保育	5歳児公開保育。資料を添付し、職員も参加して参観。
	1 2	5歳児公開保育 ・反省会	参観後、グループに分かれ、話し合う。
	1 9	2歳児公開保育	2歳児公開保育。資料を添付し、職員も参加して参観。
	2 0	2歳児公開保育 ・反省会	参観後、グループに分かれ、話し合う。
2	8	3歳児公開保育	3歳児公開保育。資料を添付し、職員も参加して参観。
	9	3歳児公開保育 ・反省会	参観後、グループに分かれ、話し合う。

(2) 来年度（平成29年度）に向けた検討事項

・今年度の研究テーマ～かわしり保育園をより良い保育園にしよう～というテーマの元、研究チームが主となって活動できた年でありました。今年度は新しい職員が加わることもあるので、改めて職員全員で保育理念、保育内容を全員で読み返し、共通理解をもって保育に臨んでいきます。またどんな職員であっても、他園の方や保護者の方に質問された時に責任をもって受け答えができる職員育成を目指します。

・園の自己評価を受け、職員から「園児の怪我、疾病に関する勉強会を開きたい」とあげられていたので、外部からの講師を招き、研修をしていきます。

・今年度、保育所保育指針が改定になるにあたり、ごしょの保育園の職員と合同で勉強会を開催していく予定です。

・姉妹園との交流として、栄養士の会を定期的に行ってきたが、次年度から保育について話し合う副主任・主任の会、衛生面について話し合う衛生の会を開催し、職員同士の交流を深めていきます。

以上